

常磐公園植栽計画

市民ワークショップ (第2回)

平成26年10月21日(火)
旭川市役所 旭川市保健所1階講座室

主催：旭川市

0. 本日のプログラム

- 18:30 開会・ (5分)
- 18:35 オリエンテーション (5分) 現在
- 18:40 資料説明 (15分)
- 18:55 グループ討議 (50分)
- 19:45 意見発表 (10分)
- 19:55 今後の予定 (5分)
- 20:00 閉会

1. オリエンテーション

- 1-1 ワークショップの目的
- 1-2 ワークショップの全体スケジュール
- 1-3 前回ワークショップの振り返り
- 1-4 前回ワークショップで出た意見A
- 1-5 前回ワークショップで出た意見B
- 1-6 今日の進め方

1. オリエンテーション

1-1. ワークショップの目的

常磐公園のみどりをより良くして
行く方法を考える。

将来の常磐公園を考え…

どんなみどりを復元するため



どこに、
どんな樹種を、
いつ、
どうやって植えるか。

植栽計画

について考える。

1. オリエンテーション

1-2. ワークショップの全体スケジュール

第1回

○将来の常磐公園を考える。

9/9終了

第2回

○植栽場所について考える。
復元目標について考える。

今回

第3回

○植栽方法について考える。

第4回

○計画について確認する。

植栽場所の実施設計

1. オリエンテーション

1-3. 前回ワークショップの振り返り

日時 : 平成26年9月9日(火)18:30~20:00

会場 : 旭川市保健所1階講座室

参加者 : 地域住民 15名、 専門家 1名

事務局 6名、 傍聴者 2名 計24名

討議テーマ: **将来の常磐公園**

みどりの問題

課題の解決策

1. オリエンテーション

1-4. 前回ワークショップ^oで出た意見A

- 細い木...木蔭欲しいので大きい木を在来種、適切に間引く。自然の力活かす。
- 枝落ちてきてキケン。→注意を促して...高木を残す。
- 公園に行かなくなった。危ない。暗い。明るく安全第一に。
- この計画の残念な点は、売店がなくなった。人が来なくなるので人が来れるよう。
- やすらぎのある公園にして欲しい。
- 閉ざされている感あった。河川敷を楽しめるように。
- 現況維持しながら、手入れをしながら今の生態系を
- 木を整理して欲しい。
- ずっと木を植えていない。みんなで植えて更新を。
- 郷土木を主として考えて欲しい。花のつく木を考えて欲しい。

Aグループ

<どんな>

<どうやって>

危ない → 安全に

暗い → 明るく

閉ざされた・売店が
なくなった → 楽しめる
公園に

現況を
今の生態系を
自然の力を

整理すれば

← 花のつく木

← 郷土の木

← 売店を

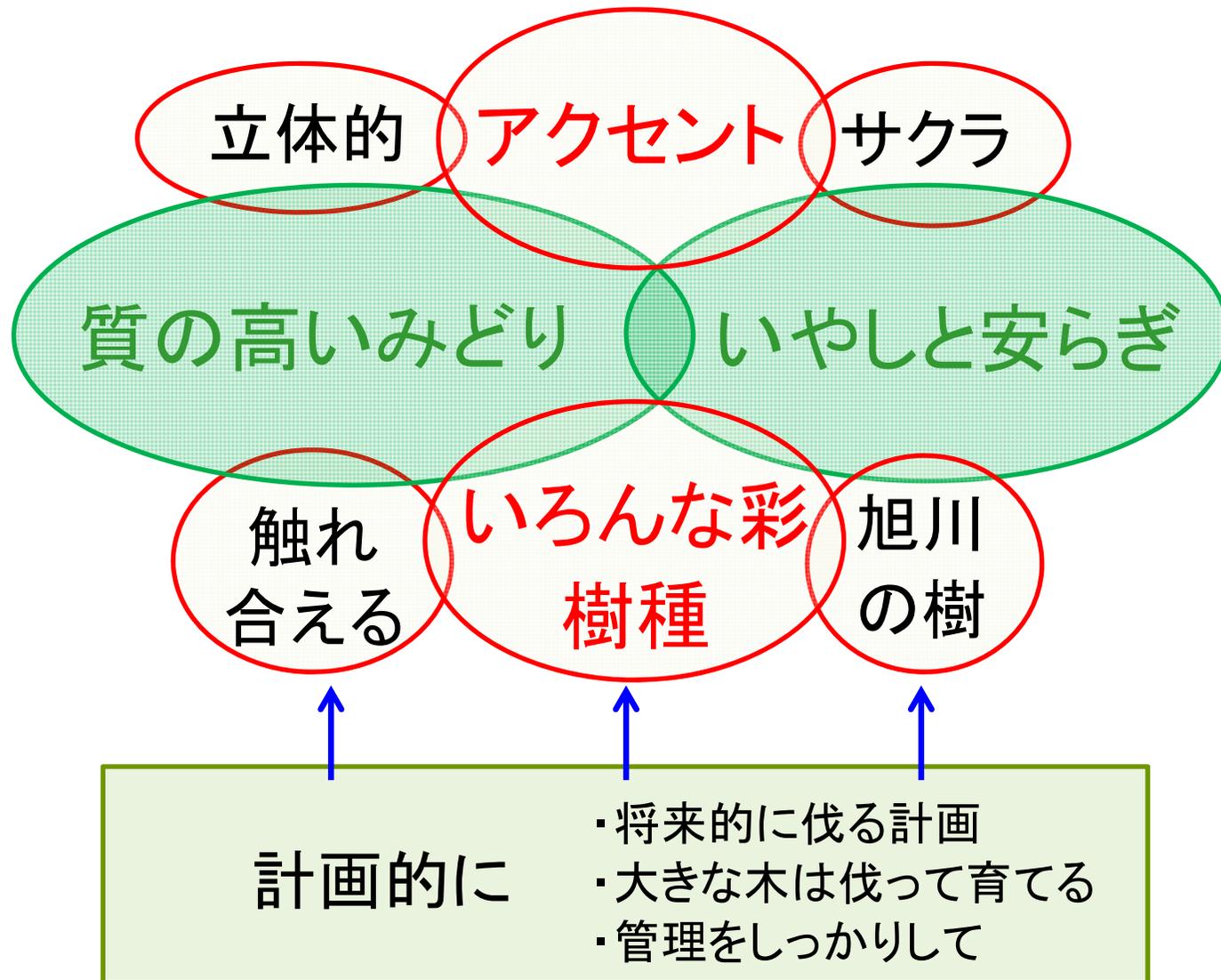
いかす

1. オリエンテーション

1-5. 前回ワークショップ^oで出た意見B

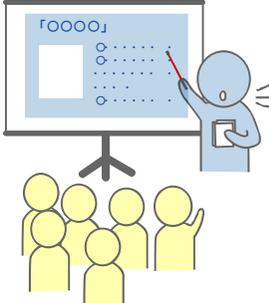
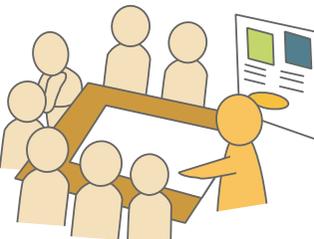
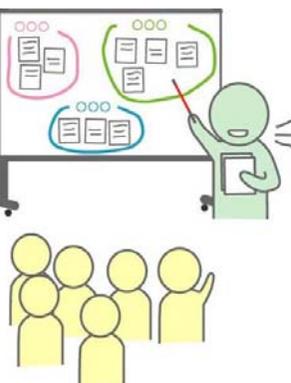
- 今後は質の高いみどりが必要。
- いろんな彩りの樹を入れる。立体的なみどりの空間を作る。
- つる性の木本も混ぜてアクセントをつける。
- 開葉の遅い木はボリュームが出にくい。
- 将来的に伐る計画を最初に立てて欲しい。
- 大きな樹は移植が難しい。木は伐って育てるべき。
- 公園にあって「いやし」「やすらぎ」があれば嬉しい。そういう意見も大切にしたい。
- 色々な種類の木に触れ合えるようにしたい。
- サクラの木を増やしてほしい。
- 旭川にある樹を増やしてほしい。
- 管理がしっかりしていれば問題は防げる。

Bグループ



1. オリエンテーション

1-6. 今日の進め方

5分 オリエンテーション	15分 説明	50分 意見交換	10分 発表	総括
18:35~18:40	18:40~18:55	18:55~19:55		19:55
<p>今日の ・目標 ・進め方 の説明</p> <p>現在</p>	<ul style="list-style-type: none">・園内生態系・植栽場所の概要・復元目標について説明 	<p>グループに分かれて意見交換</p>  <ul style="list-style-type: none">・現地について感じたこと考えたこと・どんな空間にしたいか	<p>全員集まりグループ別に成果を発表</p> 	<p>今後の予定等</p>

2. 常磐公園の生態系

- 2-1 環境別の利用状況
- 2-2 樹林(空間)の利用
- 2-3 工事の概要

2. 常磐公園の生態系

2-1. 環境別の利用状況

- 千鳥ヶ池の広がり水鳥、魚類等に利用されている。
同時に池につながる水路が、魚類や昆虫類にも利用されている。
- 動物は種毎に異なった生息環境(水域や植生)を利用している。

生息利用環境		生息鳥類		
上空		オオハクチョウ、アオサギ、カワラバト、オオワシ、ハイタカ、ノスリ、トビ、チゴハヤブサ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ムクドリ、ツグミ、カワラヒワ		
常磐公園	水域	ヒドリガモ、マガモ、カルガモ、コガモ、キンクロハジロ、ミコアイサ、カワアイサ、アオサギ、カワセミ、ショウドウツバメ		
	樹林	針葉樹	オジロワシ、アカゲラ	
		落葉広葉樹	キジバト、トビ、コゲラ、アカゲラ、ヤマゲラ、モズ、カケス、ハシブトガラ、オオムシクイ、エゾムシクイ、センダイムシクイ、メジロ、ムクドリ、コムクドリ、アカハラ、コサメビタキ、キビタキ、オオルリ、ニューナイスズメ、カワラヒワ、マヒワ、ベニヒワ、シメ、アオジ	ヒガラ、シジュウカラ、ヒヨドリ、ゴジュウカラ、ツグミ、イスカ
	人工物			
石狩川	水域	ホオジロガモ、カワアイサ、オオセグロカモメ		
	水際	アオサギ、イソシギ、コチドリ、ハクセキレイ、セグロセキレイ、キセキレイ、ヒバリ		

2. 常磐公園の生態系

2-2. 樹林(空間)の利用

- 鳥類: 池や地表等の水平分布に加え、大木を中心に、樹洞利用や架巢による繁殖場、とまり場として樹林空間を垂直方向にも利用している。
- 昆虫類: 鳥類と同様に草地、水路等を広く利用するとともに、樹幹部を垂直に利用している。
- 魚類、両生類・爬虫類、哺乳類: 一部の種を除き、ほとんどの種が、公園内の水路、池、草地をはじめとした地表部を水平に利用している。

2. 常磐公園の生態系

2-3. 樹木の繁殖利用

○コウモリ類や鳥類等が、繁殖場所やねぐらとして樹木を利用している。



3. 植栽場所の概要

- 3-1 植栽場所の位置
- 3-2 植栽場所の風景
- 3-3 工事の概要
- 3-4 整備内容の検討結果
- 3-5 造成工事後の状況
- 3-6 植栽場所の動物
- 3-7 植栽箇所 of 植物
- 3-8 植栽場所の樹木
- 3-9 樹木の保全
- 3-10 移植・根回し作業

3. 植栽場所の概要

3-1. 植栽場所の位置



3. 植栽場所の概要

3-2. 植栽場所の風景

○ドロノキ、ハルニレ、ヤチダモの大木その他、エゾヤマザクラ、ヤマグワ、イタヤカエデ等の樹木が生育。

○樹高20～30mの樹木が樹林空間を創出している。

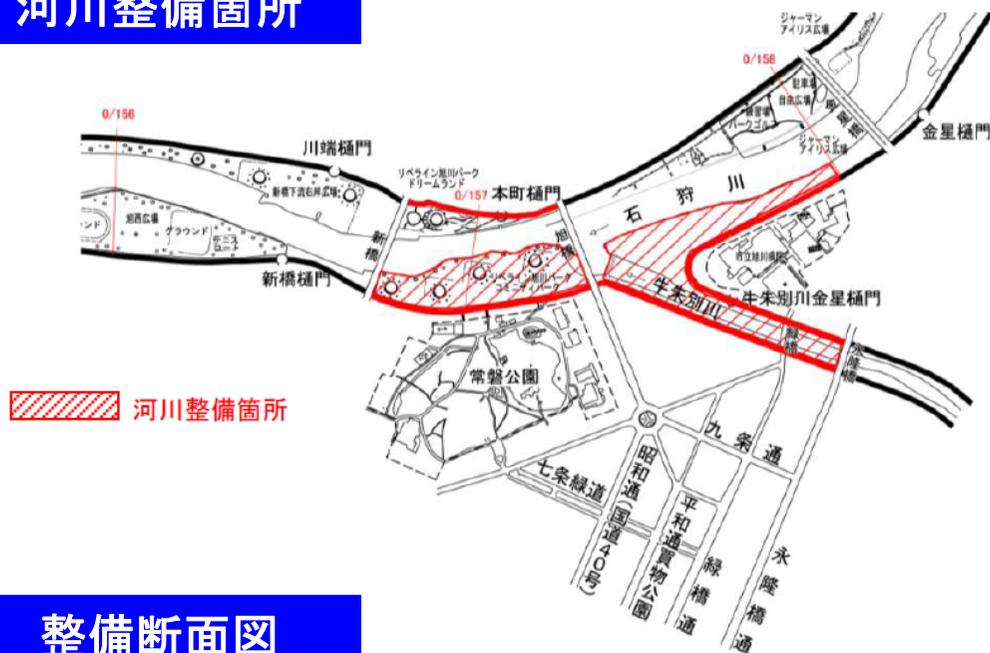


3. 植栽場所について

3-3. 工事概要

まちづくり、河川改修と一体となった公園整備を推進。

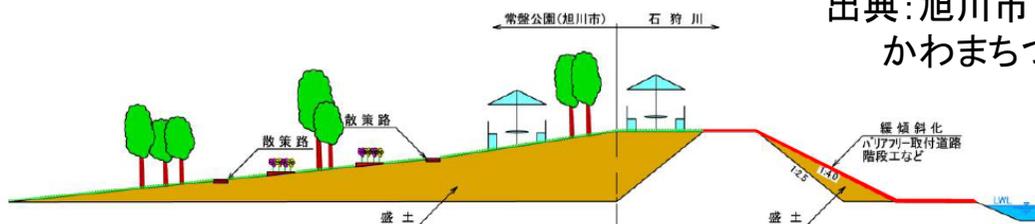
河川整備箇所



整備イメージ



整備断面図



出典: 旭川市
かわまちづくり

3. 植栽場所について

3-4. 整備内容の検討結果

常磐公園改修事業
基本計画(H25.7)

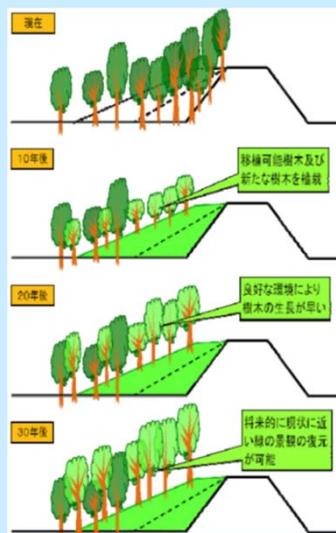
上位計画や検討委員会、懇談会、パブリック
コメント等の意見を踏まえ整備内容を検討。

個別計画(河川空間)

長期的に常磐公園の魅力
アップや賑わいの創出に寄
与できる**緩斜面化案**を採用。

- ①改修を行わない案
- ②階段のみ緩やかにし拡幅する案
- ③治水上必要な断面確保案
- ④堤防緩傾斜化案

一時的にみどりが
失われるが、将来的
に樹林の復元が可
能な④を選択。



整備直後の状況



将来予想(想定)

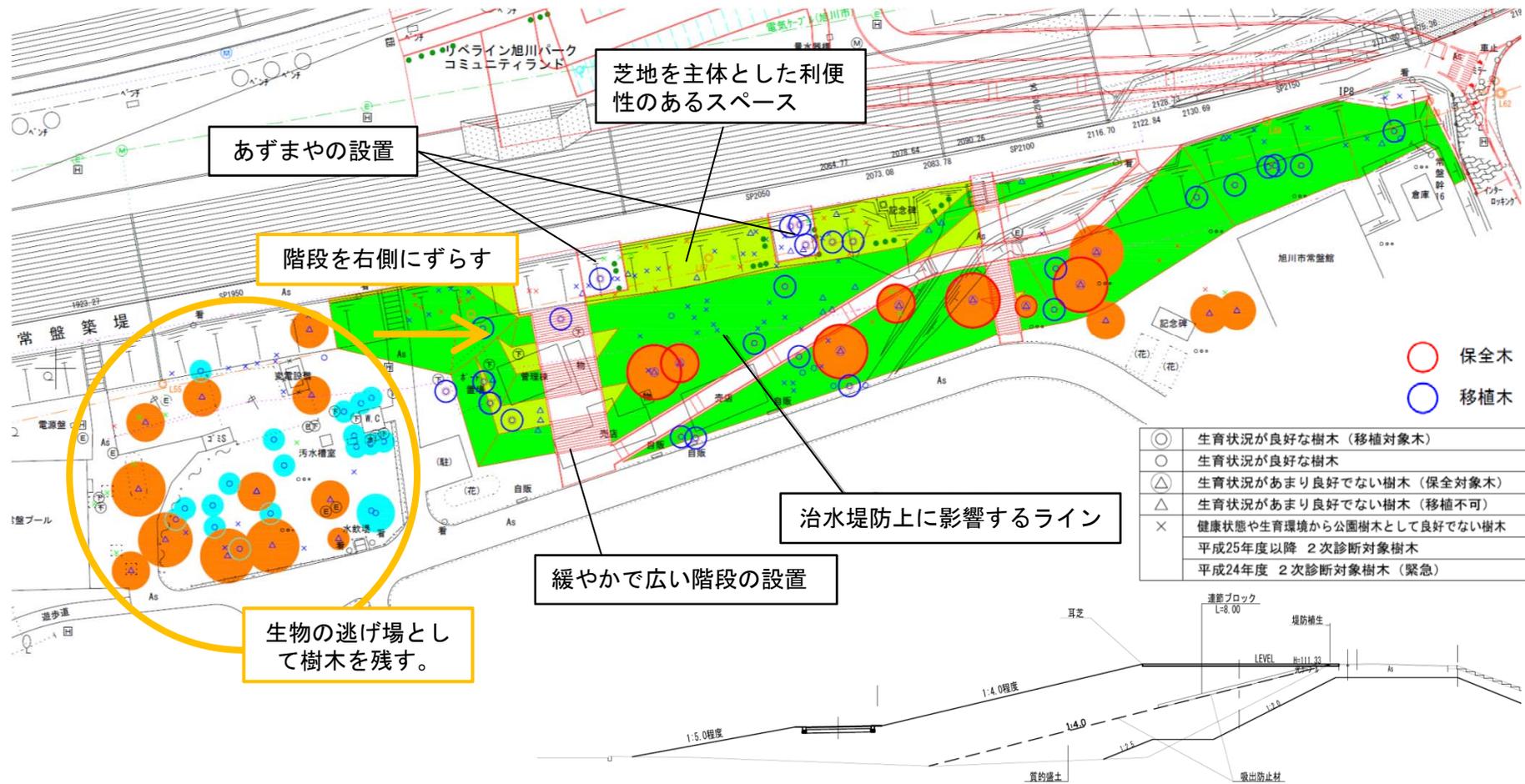


※復元イメージであり、植栽場所
を特定するものではない。

3. 植栽場所について

3-5. 造成後の状況

造成後は緩やかな堤防に車いす対応の遊歩道を整備



3. 植栽場所について

3-6. 植栽場所の動物

- 鳥類：ヤチダモやドロノキ等の樹木でキツツキ穴が確認されたほか、樹洞によるコムクドリの営巣やハシブトガラスの営巣木が確認された。
- 哺乳類・両生類・爬虫類 確認なし(=生息無しではない。)
- 昆虫類：203種を確認(全体の約4割)。外来種として、特性外来生物のセイヨウオオマルハナバチを確認。



キツツキ穴



セイヨウオオマルハナバチ

3. 植栽場所について

3-7. 植栽場所の植物

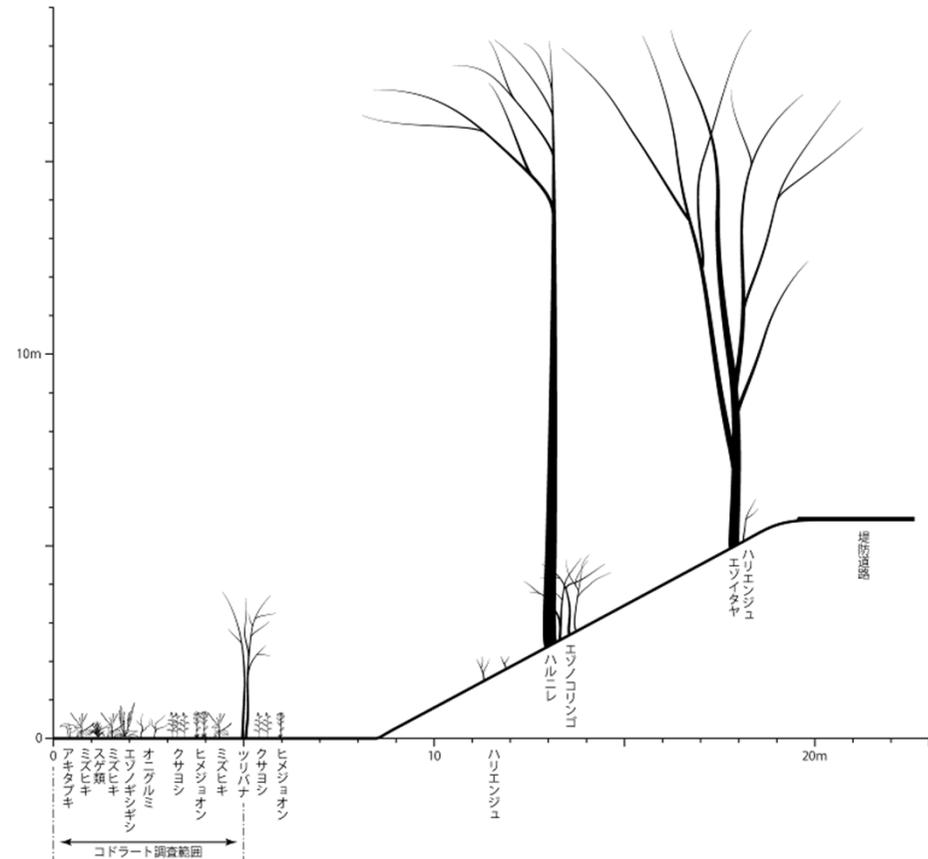
- 植物: 151種を確認。重要種は**フクジュソウ**約100株を確認。
外来種は、特定外来生物**オオハンゴンソウ**130株を確認。



フクジュソウ



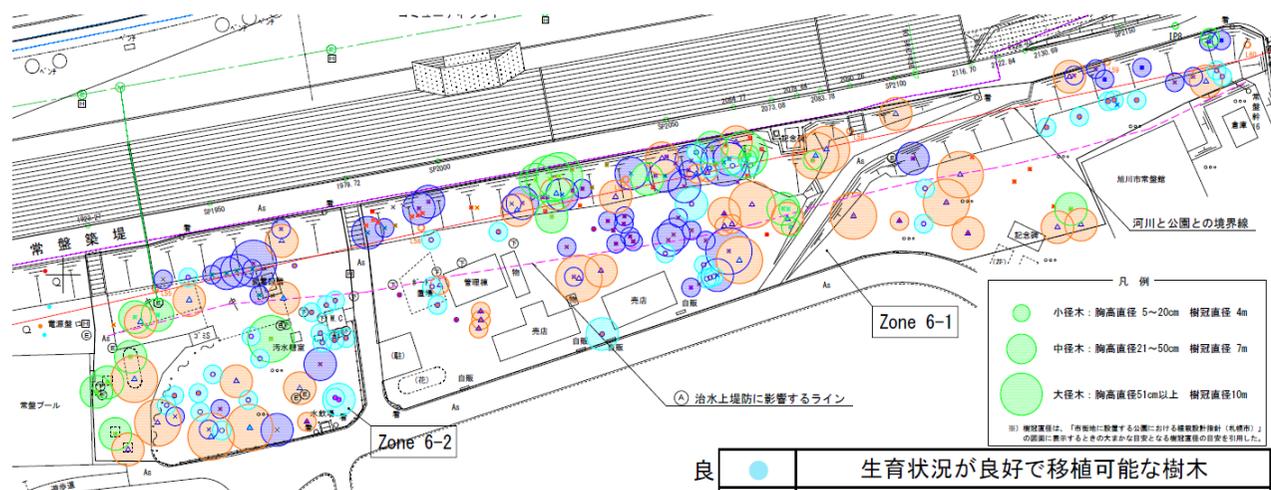
オオハンゴンソウ



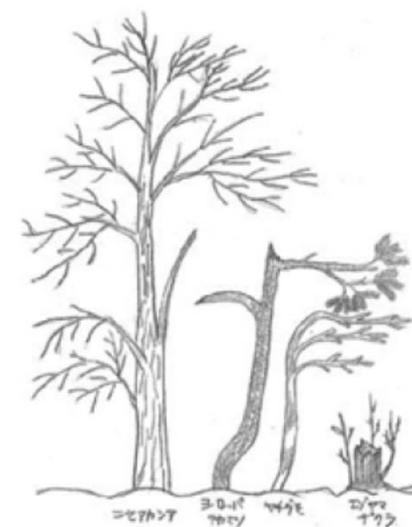
3. 植栽場所について

3-8. 植栽場所の樹木

- ・主な樹木はエゾヤマザクラ、イタヤカエデ、ハルニレ、ハリエンジュ、ネグンドカエデ。(青字は外来種)
- ・堤防付近は既存樹林により暗い雰囲気になっている。
- ・上層樹木に被圧されて、中層以下の樹木は偏形し、枯れ木・枯れ枝が生じている。『常磐公園改修基本計画』より



良	●	生育状況が良好で移植可能な樹木
↓	●	生育状況が良好でなく移植不可能な樹木
	●	健康状態や生育状態から公園樹木として良好でない樹木
劣	●	平成25年度以降 2次診断対象樹木



被圧による偏形状況

3. 植栽場所について

3-9. 樹木の保全

○基本的な方針(常磐公園の緑の計画)

- ・枯木、枯枝を生じている樹木が多数存在するため、健康な状態への更新を進める。
- ・地理・地形的に適した郷土種を中心に計画的更新による世代交代を図る。
- ・現況樹木は、移植または極力保全する。

樹木を、移植木、更新木、保全木、除去する木の4区分に分けて整理。

項目		本数
移植木	公園外に仮移植し、造成後に戻す樹木	31
保全木	通気対策を施し現状の位置で保全する樹木	7
更新木	新たに購入苗、育苗苗を植栽する樹木	今後検討

3. 植栽場所について

3-10. 移植・根回し作業

○建物が撤去され、移植木は根回しがされている。

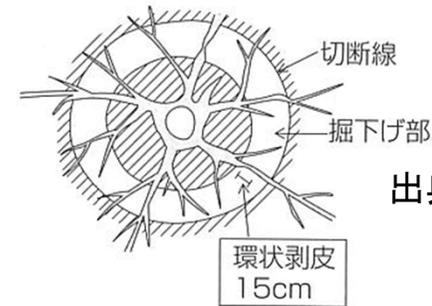
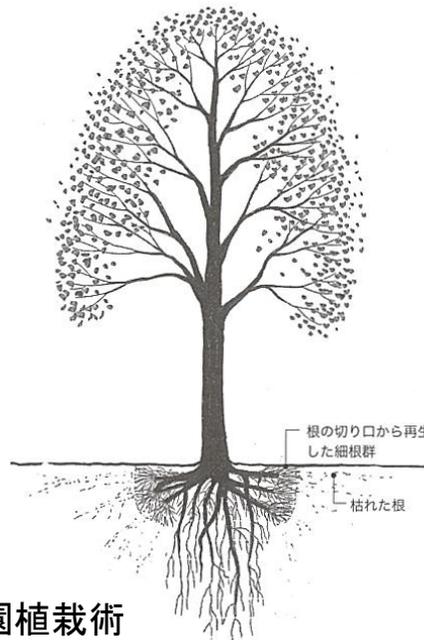
根回し:前もって根を一度切断し、残った根に細根を発生させ移植後の生育を良くする作業。

根切り作業



出典:造園植栽術
(2012)

根回しの完了



出典:わかりやすい
造園実務ポケット
ブック(2008)

○現在盛土工事を実施中。



4. 復元目標について

- 4-1 復元目標設定
- 4-2 検討条件
- 4-3 復元テーマのヒント
- 4-4 上位計画
- 4-5 主な樹種

4. 復元目標について

4-1. 復元目標の考え方

復元目標を考える手順

■ 全体方針

私は、ここを『
』な空間にしたい。

■ ゾーニング

1～数箇所にて区切って、それぞれ復元テーマを設定。
ex) 出入り口付近、遊歩道沿い、建物裏、斜面など

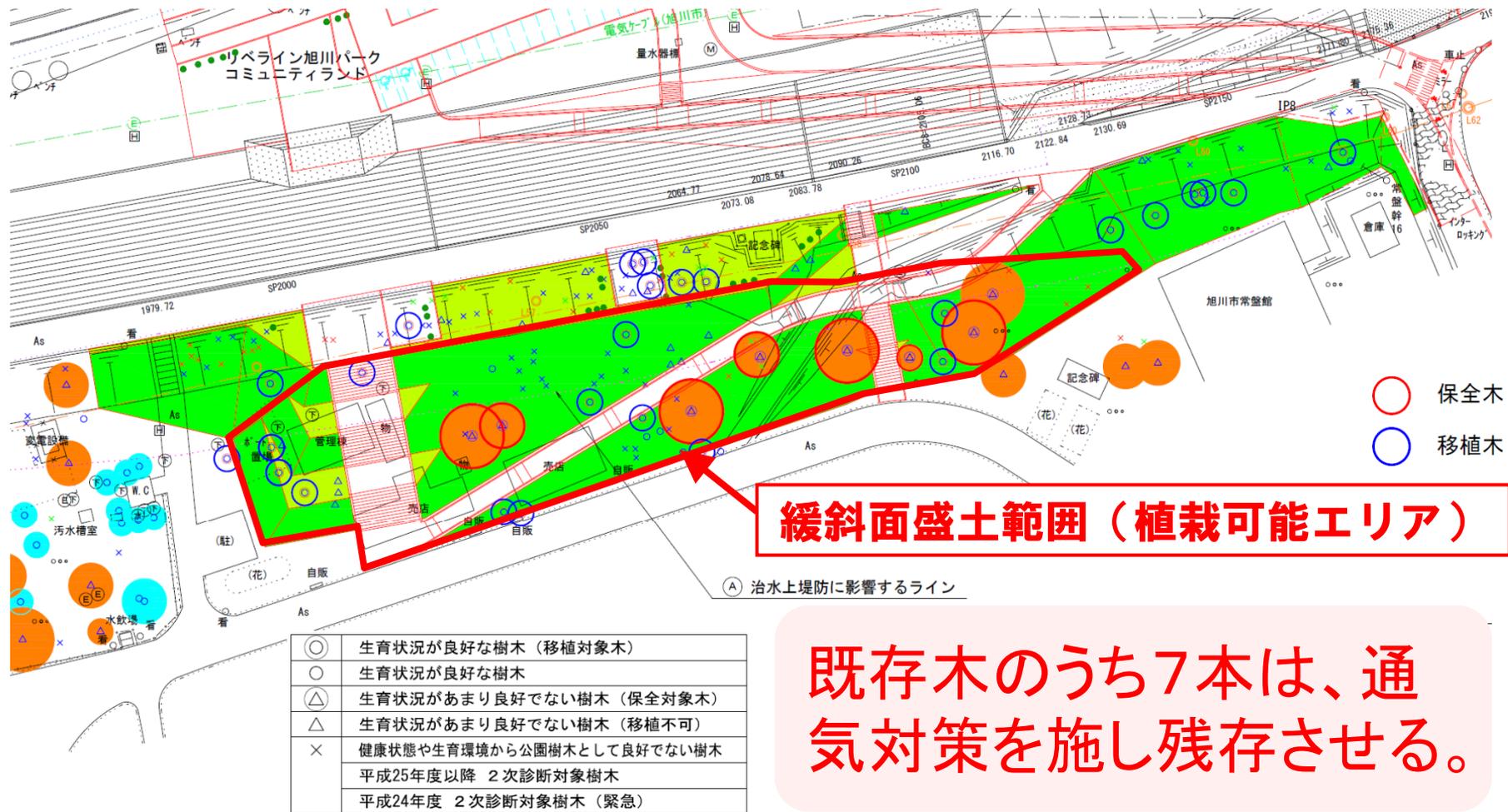
■ ゾーン毎の復元テーマ

『
』の復元テーマは、『
』です。

4. 復元目標について

4-2. 検討条件

■ 植栽可能範囲



緩斜面盛土範囲 (植栽可能エリア)

既存木のうち7本は、通気対策を施し残存させる。

4. 復元目標について

4-3. 復元テーマのヒント

優先するものは何かを考える。

環境

キーワード:

在来種、多種、複層林、
実のなる樹種、営巢環境
密植、閉鎖的、早期緑化

※赤字は第1回ワークショップで意見のあった項目

○その他

旭川の木花
匂いする林
珍しい樹種...

修景

キーワード:

花木、紅葉、桜堤、花壇、
目印(ランドマーク)、
季節感、少数種、庭園

機能

キーワード:

木陰、緑陰樹、誘導、並木、
防風・防雪、常緑針葉樹、
広場、低密度、ベンチ

4. 復元目標について

4-4. 上位計画

常磐公園の みどりの計画 (H24.8)

テーマ:みどりを
守り育てる。

○基本的観点
安全性、快適性、
景観、生態系

次の100年を見据え、
次の時代に向けた樹
木の更新を図っていく。

■樹種の選定に関して

- ① 現況の樹種を土台に北海道や旭川市周辺の環境に適した**多様な郷土樹種**
- ② 四季を通じて楽しむことのできる**花木、紅葉木、常緑樹**など
- ③ 生きものや景観に配慮した多様な樹種
森林としての**寿命のバランス**が上手くとれるような樹種

■樹木の配置に関して

- ④ **密植を避け**植物が生長できる空間が確保できるような配置
- ⑤ **死角や暗がり**ができないような防犯面に配慮した配置
- ⑥ 樹種に合わせた**適正な樹木の間隔**で配置

■樹種の選定、樹木の配置に関して

- ⑦ 花粉、綿毛、日照障害など、**近隣への影響や迷惑**を与えない
- ⑧ 枯れ枝の処理などが困難な高木は、**樹林のアクセント**として配置

4. 復元目標について

4-5. 主な植栽樹種

近年では競争力の強い外来種は使用しないことが一般的。

樹種区分		針葉樹		広葉樹	
樹冠を構成する樹種	在来種	◎アカエゾマツ ◎トドマツ	小 中	◎イタヤカエデ ◎オオバボタイジュ ◎カツラ ◎シナノキ ○ハルニレ ○ヤチダモ	中 中 中 中 大 大
	外来種	○イチョウ ○チョウセンゴヨウ ◎プンゲンストウヒ ◎ヨーロッパアカマツ	大 大 小 中	△プラタナス	大
添景樹種	在来種	◎イチイ	小	◎アズキナシ ◎イヌエンジュ ◎エゾヤマザクラ ◎キタコブシ ◎ナナカマド ◎ヤマモミジ	中 中 中 中 中 中
	外来種	◎ニオイヒバ ◎メタセコイア	小 中	◎サトザクラ ◎ライラック	小 小

参考：市街地に設置する公園における植栽設計指針(2006, 札幌市)

小中大：樹冠の大きさ

◎：問題の起きにくい樹種

○：スペースの確保が必要な樹種

△：配慮が必要な樹種

※ピンク字は園内生育数の多い種

5. 意見交換してほしいこと

植栽計画第2回市民ワークショップ 討議事項

- 現地を知って感じたこと・考えたこと
- 復元する空間はどんな空間にしたいですか（ゾーニングと復元テーマ）